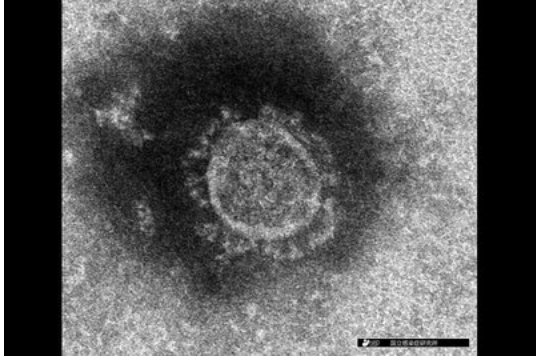


「口から守れ 新型コロナ！」

○口腔ケアと舌ブラッシングを推奨

▶ 新型コロナウイルスはどうやって感染するのでしょうか？



ヒト細胞の表面のレセプター（ACE2）を介してコロナウイルスが侵入し（最初に入ってくる場所）、ヒトのDNA・RNA増幅システムを利用して増えていきます。そのACE2は口腔粘膜、舌や唾液腺に多くあります。鼻にもありますが、コロナは鼻症状が少ないことから、舌が注目されています。味覚障害が起こりやすい原因もコレ！と言われていました。花田信弘先生（元国立感染症研究所部長）が**口腔ケアと同時に舌ブラッシングを推奨**しているのも頷けます。また、CPR検査を唾液で行おうという動きの源もここにあります。ウイルスの移行経路は？口からだった！！からに他なりません。

▶ 歯周病の方は、特に口からの感染が多いのではないのでしょうか？なぜでしょうか？

歯周病がコロナウイルスが口腔内のレセプターに**侵入するのを助けてしまう**と言われていました。

また、歯周病で口腔粘膜に（歯周病菌によって）傷ができてしまっている人は、その傷口からも感染してきます。口から、肺や肝臓に移行して重症化していきます。肺は誤嚥なので口から直接入りますが、肝臓は血液を介して移行すると考えられています。歯周病ではウイルスが容易に血管内に入り得るのです。是非、コロナは**体の入り口で守って**いただきたい。

○歯周病で新コロナが重症化！ ～歯周病と言われたことのある人必見！～

▶ ここでも、注目したいのが「歯周病」

コロナ感染症の約20%は重症肺炎となり、そのうち30%は致死的な急性呼吸促迫症候群(ARDS)となります。この重症化は**サイトカインストーム（炎症物質の嵐：コロナの重症化）**により生ずると考えられています。

▶ サイトカインストームに関わる歯周病

コロナウイルス感染の重症化で見られるのは、**敗血症**という状態です。この敗血症になる原因を見ると菌血症とウイルス血症の混合感染だということが分かってきました。ウイルスはコロナウイルスによるものですが、菌血症はというと歯周病菌が一因となることがあります。

歯周病菌が出す毒素（LPS）は多臓器不全の原因になることは広く知られています。この毒素が今回のコロナウイルス感染症でサイトカインストームを惹き起させる原因にもなっているようです。

このうち、菌血症部分が歯周病予防でリスクを減らせそうです。ウイルスと細菌の混合感染を防いでコロナ感染症の重症化を予防しましょう。

歯周病（歯肉の炎症）は、心筋梗塞や糖尿病になりやすいだけではなく、コロナも重症化しやすいという訳です。

○手洗い、うがい、ブラッシング



SARS（新型コロナウイルスもこの亜型）ウイルスが無くなることはないと言われていました。予防法は簡単なことです「**手洗い、うがい、ブラッシング**」がコロナ予防三原則。これはインフルエンザの予防にも当てはまります。冬になると呼吸器感染症が増えます。備えあれば憂いなし。歯科医院へ行って、歯周病の重症化を予防していきましょう。

日歯連広報第148号「緊急提言 花田信弘鶴見大学教授」より引用

注）COVID-19に関する最新の情報は内閣官房のホームページをご参照ください。

<https://corona.go.jp>